

# ふれあい情報

## 2025年3月5日(水) 第394号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 野田那智子  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11



日本退職者連合  
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

# 第217回通常国会における要求実現に向けて 厚労省・政党へ要請行動を実施

退職者連合は、「政策・制度要求実現 2.13 院内集会」以降、立憲民主党、国民民主党、社民党、公明党、厚生労働省に対し、『2025年通常国会に向けた政策・制度要求』の要請行動を実施しました。今次国会は、与党過半数割れとなり、私たちの求める様々な課題について議論される国会運営を求めるとともに、要求実現に少しでも近づけるために関係部門への要請及び意見交換を実施してきました。

要請行動は、人見会長、野田事務局長および事務局で実施しました。冒頭、人見会長より、要請行動の主旨および挨拶を行い、その後、岩崎副事務局長より要請内容のポイントの説明し、意見交換を行いました。



冒頭に挨拶をする  
人見会長

人見会長挨拶

国会開会中に時間をとっていただき感謝申し上げます。また、日頃から退職者連合運動に対するご協力に御礼申し上げます。

私たちは、2025年通常国会に向けた政策・制度要求を作成し、2月13日(木)衆議院第一議員会館内において全国から約200名が参加する院内集会を開催して、要求実現に向けた取り組みを確認してきました。

本日は、集会での確認を踏

まえて要求実現に向けた要請にきました。とくに年金保険制度や医療制度や「選択的夫婦別姓制度」の実現など直近の課題などもありますので、ぜひ、緊張感のある今国会での議論を展開していただくようお願いいたします。



要請のポイントを説明する岩崎副事務局長

### 2025年通常国会に向けた要求

- ① 財政と金融の健全化
- ② 社会保障の基盤である良質な雇用の安定拡大
- ③ 社会保障機能強化のための改革とその財源の確保
- ④ 年金保険制度の維持改善
- ⑤ 地域包括ケアネットワークの確立
- ⑥ 医療制度について
- ⑦ 介護保険制度について
- ⑧ 子ども子育て政策の社会化
- ⑨ 生活を直撃する物価高騰対策
- ⑩ 温暖化防止・気候変動対策について
- ⑪ 税制について
- ⑫ デジタル化政策について
- ⑬ ジェンダー平等について
- ⑭ 改正食料・農業・農村基本法について

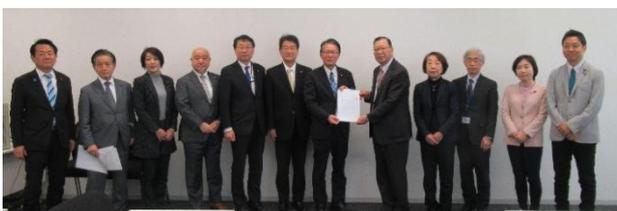
## 立憲民主党

2/17

以降に要請行動の概要を報告します。

人見会長の挨拶後に岩崎副事務局長より、14項目の要求内容のポイントについて説明し、意見交換を行いました。

長妻代表代行、大島企業・団体交流委員長他13名の衆参議員と多くの秘書の方に出席していただきました。「立憲民主党の政策と同様のものも多いので、修



長妻代表代行(右から6番目)に要請書を手交する人見会長(右から5番目)



福島党首へ要請書手交

労働者等の被用者年金保険拡大は議論されているが、進展しない状況である。

福島党首と事務局の方で対応していただきました。福島党首から、「非常にメリハリのついた要望で、社民党も同様の考え方であり、頑張つてやっていきたい。マクロ経済スライド制度や短時間労働者等の被用者年金保険拡大は議論されているが、進展しない状況である。」と回答がありました。

### 社民党

2/17

正案提出や議論を進めていきたいと思う」との説明後にマクロ経済スライド制度、政治とカネの問題、高額療養費などの課題について意見交換を行いました。「いずれにしても、少子・高齢化の社会の中で地域の活力が弱くなってしまふことに歯止めをかけなければいけないので、退職者連合の政策をしっかりと受け止めて進めていきたい」と回答がありました。



人見会長より、いそぎ哲史議員に要請書手交(中央)

川合幹事長代行、西岡企業団体委員長他10名の議員、事務局の皆さんに出席して

### 国民民主党

2/18

防衛費増税ではなく医療費や介護費への対応をするべき。選択的夫婦別姓制度の実現に向けては、議員立法で出てくると思うし与党でも賛成の方がいるので、これから世論を盛り上げて実現に近づけたいと思う」などの対応について説明がされました。

いただきました。

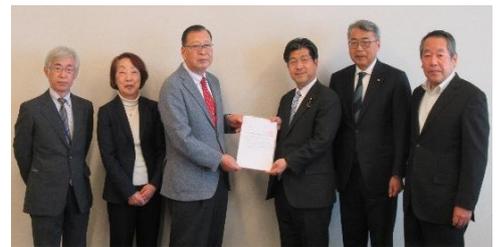
「今、与党は過半数割れとなり、野党の声を聞かざるを得ない状況となっているので、退職者連合の政策をしっかりとして聞かせていただいて政策に反映していきたいと思っている」その後、防衛費増額、高額療養費自己負担の見直し、被用者保険加入拡大などについて、意見交換を行いました。また、選択的夫婦別姓制度の実現に向けては国民的な議論をすることが重要であることなどについて認識を共有しました。

### 公明党

2/18

里見参議院議員、宮崎参議院議員他事務局の方に対応していただきました。「公明党は与党であるが政府の施策を推し進めながらも、国民にとってより良い政策となるよう自民党と野党の間に入って調整をしている。

政治とカネの問題については、とにかく透明化・見える化することを求めて進めていく。選択的夫婦別姓制度については公明党も賛



人見会長より里見議員に要請書手交(中央)

成の立場であり、与党内でも賛成の人たちを増やしていきたい。短時間労働者の被用者年金加入拡大については、多くの人に影響が出るので丁寧に説明をして全国民共通の基礎年金底上げを求めていきたい」その後、介護保険制度、平和問題、自然災害への対応などについて意見交換を行いました。

### 厚生労働省

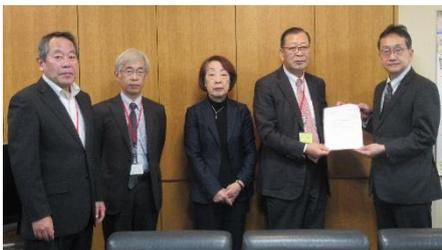
2/17

厚生省に対しては、年金制度、医療制度および介護保険制度の3項目の要請を行いました。厚生省からは宮崎総括審議官ほか事務局

の方に対応していただきました。

宮崎総括審議官から、各要請項目の対応状況などの説明があり、その後意見交換を行いました。

「年金制度改正については、閣議決定に向けて最終的な調整を行っている。高額療養費制度については、当初案を修正して多数回該当は凍結とした。訪問介護の基本報酬については、処遇改善要件を弾力化して賃金引き上げを支援していきたい。いずれにしても、色々な立場の人の意見を聴いて進めていく」などの考え方が説明されました。



宮崎総括審議官に人見会長より要請書手交